# 取組と目標に対する自己評価シート

| 年度 | 令和元年度 |
|---|---|

## 前期（中間見直し）

| 実施内容 |
|---|
| ・第１クールは５月から８月までで８回実施し、参加者は６人だった。<br>・第２クールは 11 月から２月までで８回を予定しており、参加者は５人。<br>・第１クールの初回と最終回に認知症のスクリーニング検査（Me－ＣＤＴ）を実施した結果、改善した人はいなかった。 |
| **自己評価結果** |
| ・各クール８人の参加を予定していたが第１クールは６人、第２クールは５人となってしまった。事業の周知方法等について検討する必要がある。<br>・認知症のスクリーニング検査（Me－ＣＤＴ）の結果、改善した人はいなかったので、事業自体を見直す必要がある。 |
| **課題と対応策** |
| ・参加者を増やすため、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携し、認知機能の低下があると思われる人に事業の PR をしていく必要がある。<br>・継続的に参加することでより効果があると思われるので、毎回同じようなメンバーになってしまい、意欲の低下が感じられる。実施方法やテーマについて検討する必要がある。 |

## 後期（実績評価）

| 実施内容 |
|---|
| ・前期は５月から８月までで８回実施し、参加者は６人だった。<br>・後期は 11 月から２月までで８回実施し、参加者は５人だった。<br>・前期及び後期の初回と最終回に認知症のスクリーニング検査（Me－ＣＤＴ）を実施した結果、前期では改善した人はいなかったが、後期では１人改善した。前期後期を通じて会の雰囲気は良く、参加者が積極的に発言をしていた。利用者の記憶を呼び起こすためのアイテム等も駆使して実施されていた。 |
| **自己評価結果** |
| ・各クール８人の参加を予定していたが第１クールは６人、第２クールは５人となってしまった。事業の周知方法等について検討する必要がある。<br>・認知症のスクリーニング検査（Me－ＣＤＴ）の結果、改善した人は１人のため、事業自体を見直す必要がある。 |
| **課題と対応策** |

・参加者を増やすため、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携し、認知機能の低下があると思われる人に事業の PR をしていく必要がある。他課で実施している事業の参加者に対しても、周知を行うことを検討する。
・継続的に参加することでより効果があると思われるので、毎回同じようなメンバーになってしまい、意欲の低下が感じられる。実施場所について、参加者の記憶を想起させるものが多くある、市指定文化財である施設等で実施することを検討する。